

18歳選挙権に向けて 小学生や高校生が選挙の大切さを学ぶ

小松島小学校で1月20日、「初歩から学ぶ選挙スクール」（主催：徳島県明るい選挙推進協議会連合会、県選挙管理委員会、市選挙管理委員会）が開催され、6年生22名が選挙クイズに挑戦したり、模擬投票を体験したりしました。

模擬投票は、学校のマスコットキャラクターを選ぶという設定で、「こまポン」（市観光PR）と「ポンスター」（小松島競輪）を候補者に見立て、実際の記載台や投票箱を使用するなど、本番さながらに行われました。児童らは、市選挙管理委員会の委員による立会人が見守る中、緊張した表情で一票を投じていました。最後には開票作業も体験し、こまポン13票、ポンスター9票という結果となりました。



模擬投票を体験する小松島小学校の児童



選挙や政治について学ぶ小松島高等学校の生徒

また、小松島高等学校では1月29日、まもなく有権者となる3年生215名を対象に、市選挙管理委員会主催の出前講座が開催されました。

講座では、同委員会事務局の職員から18歳に引き下げられた選挙権年齢や選挙運動の注意点などの説明が行われ、生徒たちは選挙の仕組みや投票の大切さを学んでいました。

市選挙管理委員会では、市内に居住する満18歳から30歳までの若い有権者の方で選挙に関する啓発活動などに携わる「選挙啓発サポーター」を募集しています。詳しくは、市選挙管理委員会（市役所3階☎32・3807 / FAX 32・7011）までお問い合わせください。

鬼は外！ 福は内！ 子育てポンポコくらぶで豆まき遊び

1歳から就学前のお子さんの自由遊びとお友達づくりを行う「子育てポンポコくらぶ」が市保健センターで2月2日に開催され、約20名の親子が参加しました。

この日は節分を前に「豆まき」の遊びが行われ、親子が一緒になって新聞紙をちぎって丸めた豆をたくさん作った後、子育て応援ボランティアの母子保健推進員が鬼の面をかぶって現れ、子どもたちは一斉に「鬼は外、福は内」と元気な声を響かせながら豆をまいていました。

子育てポンポコくらぶは、小松島市に住民票のある幼児を対象に市保健センターで毎月2回（第1火曜・第3水曜）開催されており、料金は無料で、申込不要です。日時や内容は広報こまつしまの「保健だより」などでお知らせしています。詳しくは、市保健センター（☎32・3551 / FAX 32・4145）までお問い合わせください。



新聞紙を丸めて豆作りに挑む子どもたち



鬼に向かって元気良く豆まきをする子どもたち